

サビエル生誕五百年  
 (昭和22年1月15日第3種郵便物認可)  
 威士忌のヒコーキ旅  
 ビーチ、DEBUT  
 ファーストクラス  
 クラス  
 こんな雑誌があるのを  
 初めて知る

結婚生活五十年、三  
 人の子供に恵まれる。  
 金祝を機に、改めて家  
 族のきずなを大切にし  
 ようという私の意向を  
 受けて、長女が企画し  
 たのが家族でのパレス  
 チナ旅行である。

長女はNGO活動  
 で七年間、パレスチナ  
 に住み、貧しい母子の  
 保健プロジェクトに関  
 わった。その体験をも  
 とに大学院で博士号を  
 取得した彼女はパレス  
 チナに育てられた感が  
 ある。

娘だけではない。私  
 たちも一九九八年、現  
 地の娘からの要請で大  
 量の布おむつを持って、  
 二週間パレスチナを訪  
 れた。以後、妻を中心には  
 ハンザのマイルもかな

パレスチナ支援組織を作り、長く活動してきました。  
 だが、巡礼記を書き始めてからは一度も行つてない。もう一度行きたい。また次女も姉が働いたパレスチナを見たことがない。

そこで、パレスチナ家族旅行の提案となる。「巡礼記」を書くための体験」という言葉に、清水に飛び上がったのである。

「空飛ぶダブルベッド」とは、我ながら良い表現と思う。今回乗ったのである。

結婚生活五十年、三  
 人の子供に恵まれる。

金祝を機に、改めて家  
 族のきずなを大切にし  
 ようという私の意向を  
 受けて、長女が企画し  
 たのが家族でのパレス  
 チナ旅行である。

長女はNGO活動



藤屋 侃士  
 (下松市幸ヶ丘)

## 空飛ぶベッド

～ファーストクラスを体験（上）～

りたまっているので、五月の連休を利用してフルノートに行くことになる。長男は仕事で休みがとれず、二人の娘との四人旅。

しかしチケットを手配すると、往路のビジ

ネスは取れたが、復路のビジネスは満席という。かといって働いていられる娘たちの日程変更は無理だ。と、長女の口から思つてもいなかつた

「金祝記念、差額は無理だ。と、長女の口から思つてもいなかつた

「金祝記念、差額は無理だ。と、長女の口から思つてもいなかつた

「金祝記念、差額は無理だ。と、長女の口から思つてもいなかつた



2人並ぶ席はこの1カ所のみ